

関東あまたか

発行 関東あまたか会
編集/山中麗子
印刷/(株)アーツ

今年度感じたこと

天草高等学校校長
前田 三千治



関東あまたか会の皆様におかれましては、御清祥にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。今年度は、関東あまたか会の同窓会に出席することが出来なくて残念でした。

天草にいと東京を始めとした大都會の様子はテレビ等でしか知ることが出来ません。近頃、中国と韓国から多くの観光客が日本に来て、爆買いをしている(天草では見ないぞ、長崎にはたくさん来ていて船の入港制限までしているらしい。天草には大型の観光クルーズ船が停泊できる港がないからなあ。)という話題はよく耳にします。中国と韓国とは領土問題や歴史認識からギクシャクした関係にあり、日本人が相手を嫌っている割合は中国が約90%、韓国が約70%というアンケート結果(誰にしたのだろうと思うが、インターネットの情報にはある)なので、向こうもこちらを結構嫌っているのではという思いがありました。天草にいと外部からの情報

はマスクに頼ることになります。その情報もマスクのフィルターを通るのでどこまで真実か不明です。

7月に交流を始めた韓国の高校を訪問しましたが、当時マスクはMERS(マーズ)を大々的に取り上げ、韓国はとても危険地帯のようなイメージに仕上げられていました。しかし、出発をする前に直接MERSの情報を得ると、感染の疑いがある者は隔離され、新たな感染者も病院内だけでの感染であつてきちんと管理されていることが分かった(マスクは新たに1人の感染者が出てもおおごとのように報道していた)ので、行くことを決断しました。そして、実際に現地に行ってみるとどれもマスクをしている者もおらず、MERSのMの字もなかったし、高校側も大歓迎でこんなに民間レベルでは友好的なのかと大変驚きました。10月には、韓国からの高校生をお迎えしましたが、大変喜んでお迎えしましたが、大変喜んでお迎えして交流は大成功でした。やはり、直接見て触れて話し合うことは大事だと思いました。11月に、出張で東京に行く機会

がありました。新宿のホテルに宿泊しましたが、近くのコンビニは外国人ばかりでレジの人も中国人でした。ホテルも外国人ばかりで、チェックインする時にあつたフロアの日本人コーナーはチェックアウトの時にはもうありませんでした。多くの外国人を見てマスクの報道のとおりだと感じましたが、地球上から争いやテロなどがなくなり、誰もが安心してどこにも行かれるようになればと思います。

会長職3期目に入る!

関東あまたか会会長
松尾 和幸(高16回生)



平成27年度総会におきまして、会長職の統投を承認されました。まさか3任期も会長を務めるとは思ってもいませんでしたが、今後微力ながら会のために可能な限り尽くします。

総会において申しましたように「会の目的は、会員の融和親睦です。そのためには、情報の共有とお互いに知り合うことです。会報とホームページはそのための最も有効な手段と思います。皆さんでこの会報とホームページを育てて行きましょう。」引き続き御理解・御支援 御協力をお願い申し上げます。3期目統投の挨拶とさせていただきます。

未曾有の東日本大震災と原発事故から間もなく五年

松尾 弘美(高15回生)



二〇一一年三月十一日午後二時四十分。突然かつて経験した事が無い大きな揺れに、部屋の家具、調度品、食器等が激しい音と共に倒壊し、危険を感じ外へ這い出して庭の大きな植木の根元にしがみついて居りました。

絶え間なく続く余震に近所の屋根瓦の落下する凄しい音と、阿武隈山系の山並が波打って動くのを見て、言い表す事が出来ない恐怖を感じ、一生忘れる事が出来ない悲しみと悔しさと苦悩の連続が始まりました。

間もなく町の津波警報に着の身のまま飛び出した避難先から翌日そのまま原発の事故に依る強制避難へと、皆様へは伝えられなかった過酷な避難所(場所によっては温度差が有り)を転々とし、当地・娘や孫達が居る鎌倉へ落ち付く事が出来ました。四ヶ月ほど経って、やっと「自宅への一時帰宅」が認められました。町への入り口にはゲートが設けられ、出入りも厳重にチェックされ、東電によって準備された防護服・マスクを頭の前から足先まで三重に身を包み、放射能の計量器を首にかけて・・・自宅の滞在時間も二時間と制限され、家の中

の整理・掃除する時間もなく(冷蔵庫もあの日から一度も空けてなく)また持ち出せる物も手に持っている最小限とされ、必ず帰りのゲートで放射能汚染のチェックを受けました。

現在は、それらも緩やかになり、時々家の様子を見に帰ることが出来る様になりましたが、帰る度に近くの田・畑も荒野化し、我屋敷も身の丈を超えるほど伸びた雑草に覆われ、人が住まなくなり風通しもしない家は帰る度に朽ちていく様子を目の当りにし、自分の家なのに、どうする事も出来ない事にむなしさが・・・。

なかなか復興も進まず、避難解除の予定までには、安心して帰町出来る様になるのでしょうか?皆様にとっては東日本大震災・原発事故も過去の事、忘れ去られた事かも知れませんが、私達にとつては、五年間も、これからも当時とは変った苦しみ・悲しみでまだなお続いています。決して過去では無く強いられた避難生活は現在も進行中。近頃はむなしなくて苦しくて心が萎える日は古布を使つてのお地藏様を一日も早い復興の願いを一針一針に込めて作っております。最後にになりましたが、当会の皆様、また、多くの方々から頂きましたお見舞、暖かいご支援に感謝し、厚くお礼申し上げます。



古希のことば

桑原 安男 先生



天高16回生
古希同窓会お
めでとうござ
います。杜甫
の詩、曲江の

一節「人生七十年古来稀」に由る古希ですが、信長の幸若舞の「人間五十年下天の内をくらぶれば夢幻の如くなり」と照らし合わせると、人生70年はまさに「夢幻の如くなり」であります。それだけの重みのある人生とその時代でありました。ほんとうにお目出度いこととあります。

★時代を70年遡りますと1945年の8月15日があります。皆さんは戦前と戦後の二つの時代にまたがってこの世に生を受けました。戦後70年を一身に背負って生きてこられました。経済白書が「もはや戦後ではない」と銘打った1956年、小学生の高学年として「世の中」を感じ始めていたでしょうか。1960年、「60年安保」の6・15がありました。1964年の東京オリンピック、東京の大変貌。1968年はベトナム反戦の世界的な広がり、日本の学生運動がありました。安田講堂の攻防戦で立てこもった107名のサムライの中に天高16回生の秀才の名前がありました。1970年の大阪万博が日本の高度成長のピークだったのでしょうか。1973年、1979年のオイル・ショックがあつて、

1989年のバブルとその崩壊につながっていききました。その後の「失われた10年」。21世紀にはいると、9・11(2001)、9・15(2008)、3・11(2011)と時代の奔流はとどまるところを知りません。

★皆さんとの出会いは1961年4月でした。皆さんは天高新生として、私は新任教師として。1年4組を担当しました。教科は社会でしたが、新米教師に寛大な生徒たちでした。ある時、準備してきたノートに首っ引きで喋っていてふと顔を上げて生徒を見渡すとほとんどうつ伏せ状態でした。一人だけ背筋をびんと伸ばして顔を上げている女生徒がいました。その美しい顔を見ると目はぼつちりと開いているのですが真っ白な目で、黒いまなこがない。はっとした私の動揺が通じたのか、彼女の夢見るような黒まなこが静かに浮かび上がってきました。そのけなげな姿は女神でした。1年3組の中村清ちやんのクラスにいつも机をくっつけてお喋りばかりしているカップルがいました。この二人も「夢の中」にいました。二人は10年後に神田の学士会館で結婚式を挙げましたが、その時この二人は私の義妹と義弟になっていました。図書館で読書会をよくしていました。ジイドの『狭き門』を読んだ時、「バタ臭い小説ですが、この恋愛に感動しました」と語ったのは須崎君だったでしょう。たくさんのアリサとジェロームが意中の人のために「狭き門」をめざしました。

★会報一読、同期(9回生)の秋田健ちゃんの同窓会だより、担任だった星野悦子さんの総会での見事な司会ぶりなど懐かしい方々の近況に心躍りました。会員の方々のお名前をたどりながらしほし時を忘れました。わたしが天高に在学中にすでに伝説的存在だった方々のご健在に感動しました。教え子の方々についても懐かしい名前がたくさんありました。多くの有名な兄弟姉妹物語が思いだされました。語り草となったコンビもありました。これらの物語は「十六夜会」の一夜では到底語りつくせないでしょう。東京天草育英会のお仕事は永野正臣君(18回生)からも聞いていましたが立派なお仕事ですね。三人の奨学生の挨拶も立派です。

★人は二度人生について考えると言います。一度目は思春期に青春を、二度目には思秋期に白秋を。第二の人生をあつという間に10年生きてきて、いま残日録を前にしてその行く末を考えさせられてしまふのです。To be or not to be(ハムレット)、「ただ生きるのではなく、よく生きる」(ソクラテス)。この歳になって古典がわが問いになります。二つの8・15に挟まれた70年、希有な時代を生きた古希の人生です。おめでとうございませう。



16回生古希同窓会

函南橋校章の桜

大中 義博(高8回生)



町山口川の源流は本町だが、湧水で本流を作るには程遠く、本町

地域の田んぼの水の集まりが源流で、川の両岸を満たす流量ではない。本流は天草高校を迂回して、本渡港に至っていた。山際を通れば、高校に入れたが、函南橋と下流の木造の橋がもつぱらの通学路で、正面玄関の函南橋には、校章がはめ込まれた大きな門扉が付けられていて、「天」の字で5枚の桜花びらをかたどった校章だった。

市松模様の校舎が建て替えられたのは聞いたけど、門扉は未だあるのだろうか。卒業から何年たつたのか、一年に一度「天友会」の名のもとに同窓会を開いて喜寿を迎えた。関東近県に名簿上では数十名はいるが、還暦の歳に比べたら、喜寿の参加者はさびしい限りだ。
今年の天友会は、埼玉県幹事の浦和で開催されたが、出席しなかった。後日、参加者の一人から「天友会」が終焉したことを知らされた。
「天友会」は、天高第8回卒業生の親睦を目的として発足したが、発起人の野崎浩一が没して13年にもなった。私には万感の思いがあつたが、参加者には何の未練もなく、喜寿で幹事が大変という

5万㎡の広大なリゾート

ALLEGRIA
ホテルアレグリアガーデンズ

〒863-0001
熊本県天草市本渡町広瀬996
TEL (0969) 22-3161

http://www.hotel-alegria.jp

めぐみ保育園
〒8603-0008
天草市南町6-9
電話 0969-23-7334

**天草の乳幼児を
考える会**
住所はめぐみ保育園と同一
電話 0969-66-9772
FAX 0969-66-9773

天草で働いてみませんか！
保育士募集

天草へお帰りの際、
お子様、お孫様の
一時お預かり
保育のご相談は
ご遠慮なく
お電話下さい。

主任保育士
濱佳子(高32)

のは、体の良い言い訳で、認知症では「天友会」開催は不可能で、場所の設定もできないのが本当のところであろう。しかし、参加しなかった私には、文句のつけようもなく、会の終焉を認めざるを得ない。私も喜寿であれば同じ年なのに、その後二人の同級生と会ったが、この苛立ちは抑えようがない。間違いなく認知は進み、これから校章の桜の花など語る人は皆無であろう。

平成26年には銀座で開催され、千葉県幹事の松浦氏の案内は、A4で4枚を教え、思い出に残る資料だった。とりわけ良かったのは、各人の「天友会」の所信掲載は、それなりに人生の重みを読み取れたが、二人に会って話した時にはその片鱗はどこにもなかった。これが私の勘違いであつてくれればよいのだが、現実は無理であろう。

過去の天友会の資料は、全部ファイルに入れてあり、時々懐かしく見ていた。名簿はもとより過去全部の資料を図南橋の桜が散つた現在、未練を残すのもおこがましい。思い切つてシュレッダーに入れた。それは、図南橋の桜の木の下で、落下する花びらを箒で履くように、ファイルには一枚も残さなかつた。これは自分の心の整理のため、すべての資料は消え、この一枚が残つた。

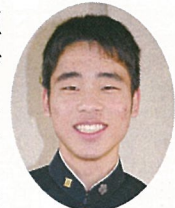
(合掌)



▼図南橋

夢の実現に向けて

天草高等学校3年生
小嶋 悠祐



私はこの度、第一志望である茨城大学教育学部情報文化課程生活デザインコースに推薦入試で合格することができました。

私は将来、ユニバーサルデザインの人々の生活を通じた様々な人が共生できる社会を築くことを目標としています。茨城大学の生活デザインコースは普段の生活に関わる様々なもののデザインを学ぶことができる大学で、私の目標を達成させるために最適であると判断し、志望しました。大学にはユニバーサルデザインを専門に研究されておられる教授がいらっしゃる、その教授の下で研究を行い、社会におけるユニバーサルデザインの役割や今後の課題などを調べていきたいと考えています。受験で初めて茨城県という地を訪れてみて、普段生活している天草とは一味違った空気を感じました。茨城県という天草から遠く離れた地で様々な不安や戸惑いがありますが、その分、これからの生活に対する期待をとても強く持っています。今回手に入れることができた機会を笑顔で受け取りますように精一杯努力する覚悟です。

今回の推薦入試に向けて、志望理由書や活動報告書の作成、面接試験の練習などを行いました。志望理由書や活動報告書作成にあたり、三年間続けてきた寮生活や部活動、ボランティア活動など、天草高校での生活の中で私自身が人として大きく成長する機会がたくさんあったことに改めて気付かされました。この三年間の経験はこれから先の人生において大きな励みとなると思います。天草高校で過ごした日々を誇りを持ってこれからの人生を過ごしていきたいです。

私が今回合格することができたのは周囲の方々の支えによるものが大きく、感謝の気持ちと言葉で言い尽くすことができません。大学に入学してからも感謝の気持ちを大切に、合格できた感動と将来の目標に対する意欲を持って励みます。そして将来遠くからでも天草の発展に貢献できるようにしたいと強く考えています。

9回生 9月 9日 新宿にて

株式会社 長谷場商事
代表取締役
長谷場 亮佑
(高11回生 牛深出身)

「店内利用無料開放」PM14:30~17:00
※打合せ会等に自由にご利用ください。

〒107-0061 東京都港区北青山3-12-7
カプリース青山2F
本店TEL 03-3406-1766 <http://higonoya.com>

警備に関することはなんでも相談せんね!

(株)機動警備
代表取締役社長
山下 純二
(高19回生 姫戸出身)

電話: 048-728-5530
FAX: 048-728-8085

クラブ赤石
赤石 洋子 (本渡出身)

〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-7
第3ソエアレ・ド銀座ビル5階
TEL: 03-3573-3994
携帯: 090-5325-9377
E-Mail: y_akaisi@f2.dion.ne.jp

(銀座8丁目中央通り 博品館並び5軒先)

クラブ中原
ママ 中原 栄子
(牛深出身)

〒107-0052
港区赤坂4-2-3
ティアンティ赤坂一ツ木館81

電話: 03-3585-7739
FAX: 03-5460-7721
携帯: 090-3008-5239

一ツ木通りの赤坂不動尊威徳寺山(入口に中華そば屋)から乃木坂方向へ4軒目(約30m)のビル「一ツ木館」地下1階

子どもは地球の宝! 守り育てよう!

赤ちゃんから大人まで安心してご利用頂けます

薬じゃないけど常備役

液体歯みがき/全身化粧水 歯みがき剤
[プレミアムナチュラル プレミアムジェル]

株式会社 やくそうの島 天草社
熊本県天草市浄南町59-3 TEL:(0969)24-3697

天草大江 平野屋旅館
宿泊料金
一泊二食 ¥7,800+税~
素泊まり ¥4,000+税

食事処 **BEN** 定休日 月曜日
営業時間 11:00~15:00 (昼)
18:00~22:00 (夜)

◆天草市天草町大江7327
☎0969-42-5106
平石水利 (高16回生)・水重 (高21回生)

皆さんに報告しました。案内状を出した女性からはほとんどから返信があり、女性の参加が少ないのを穴埋めできうれしく思っています。近況は皆さん年相応に老化していますが、まだ介護されるより介護に当たっている人が多く、孫の養育で忙しい人、のんびりと絵画を楽しんでいる人様々でした。今回参加できなかった方、次回是非参加下さい。

(学年幹事 秋田健二)

17回生 便り
平成27年度総会・友好の集いに参加して

秋晴れの下10月25日(日)「関東あまたか会」総会及び友好の集いが、都心の四ツ谷駅前スクワール麹町で開催されました。

今回私達17回生は、過去最多の11名(山口泰教、田尻鉄矢、田中幸夫、中河原昭夫、宮本忠彦、吉永政昭、林田秋由、松下庄治、竹林和義、大塚康史、明瀬建)が参加しました。

会場に入ると、郷土の先輩・後輩との何十年振りかの出会ひ等もあり「いや〜懐かしかな。」「どがんとしたかな。」と昔話に花が咲いたりしていました。

28回生江頭さんのフルート演奏を聴き、飲食、懇談等で楽しい時間を過ごす事が出来ました。

また、天草の物産品の販売コーナーでは、懐かしい品が多く、私も鯨のみりん干し、福連木のだこ、あおさ等をしこたま買って帰り、本町出身の妻から喜ばれた次第です。

全体の集い終了後、同窓生の更なる結束を図ろうとの二次会が実施されて大いに盛り上がりました。今回17回生は、男性ばかりで寂しい気分でしたところ、正に「友好の集い」の文字どおり18回生と24回生の美女(星野悦子・津田志保子・木村さよ子様)に参加していただき雰囲気も最高に、昔の歌



▲総会の席上にて



▲後輩の美女たち

謡曲をデュエットで歌う等、美声に酔いしれました。

天草高校を卒業して50余年、関東に住んでもやはり、心はあまくさであり、テレビ放送で天草関連番組があれば、友人に教え、教わり録画している現状です。関東あまたか会で、尚一層の絆を深めて行きたいと思っています。

(学年幹事 明瀬 建)

18回生 便り
隅田川沿いの墨堤通りを散策

12月5日、浅草寺、雷門の大提灯の前に同期生が集合した。そこから、吾妻橋を渡り隅田川沿いに、墨堤通りを恒例の散策。初冬とは言え、うらかな日和に、談笑しながら歩みを進める。垣間見えるスカイツリーの雄姿を楽しみつつ、歴史ある風格を漂わせる三囲神社等を参拝し、また、長命寺由来の桜もちに舌鼓を打ち、元気に雷門側の懇親会会場へ戻る。今回も、天草や名古屋からも出席し

て頂いた上、嬉しい飛び入り参加もあり、総勢17名の和やかな楽しい同期会となった。

関東天高18回生の同期会は、今年で18回目。なんと、50歳から毎年開催されているのだ。これは、偏に幹事となった方々のご苦労の賜物であり、感謝して止まない。また、会に参加する度に、豊富な話題を共有し、誰とも語り合える天高同期生の素晴らしさを心から嬉しく思う。

2時間余りの懇親会の締めくくりに、浅草文化観光センターの展望テラスからの絶景。クリスマスカラーに彩られた東京スカイツリーに、心ゆくまで癒やされ、全員で二次会の珈琲を飲みながら、次回の再会を約束し、散会となった。

【文・松本(旧姓猪原)恵美子】
創価大学文学部4年 藤本 雅士(高4回生)



▲浅草にて

東京天草育英会の恩恵を受けて

私は大学生活の中で、所属するフットサル部での活動に力を入れて取り組ましました。フットサルとは簡単に言ってしまうえば5人制の室内サッカーです。近年では日本でもプロリーグが誕生し、人気が急上昇している注目のスポーツでもあります。私が所属するチームは、遠征や試合が毎週のようにあり、

交通費や食費、宿泊費などがかさみます。その時に東京天草育英会から頂いた奨学金が大変役に立ちました。お金が無いためにチームの遠征や試合に行けないといった悔しい経験をする事なく、部活動に打ち込めたのも奨学金を頂くことができたお蔭だと感じています。チームとしては、全国大会3位という結果を手にすることができ、一生の思い出を作ることができました。

これからも東京天草育英会から受けた恩恵を忘れずに精一杯学生生活を送っていきたくです。そして、いつの日にか受けた恩を返せるよう努力していきます。



スマイル引越しセンター
東京センター ☎0120-578825
イーナビナビコ

東京運輸株式会社
代表取締役 柘山 輝雄
(天草町福連木出身)

本社/
東京都板橋区桜川2丁目15番18号
TEL: 03 (3931) 7004~6
営業所/東京都板橋区桜川2丁目13番11号
TEL: 03 (3934) 2371 FAX: 03 (3934) 2373
茨城営業所/茨城県古川市磯部11-1
TEL: 0280 (93) 0004 TEL: 0280 (77) 1213

皆様のお蔭で無事学業を終えた1人の若者が、来月巣立っていきます。私たちがそうであったように、首都・東京での生活を4年間体験して大きく成長。立派な成人となりました。

皆様からの心のこもった寄付金も大きな手助けとなりました。
ありがとうございました。

長者の万灯も貧者の一灯も

2,000円からの御寄付を 郵便局に備え付けの払込取扱票に、当東京天草育英会の口座記号・番号(00100=4= 362127)を、
お願いしております。そして加入者名の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください。

一般財団法人 東京天草育英会 ☎ 03-6261-5598

〒102-0093 千代田区平河町2-5-7ヒルクレスト平河町501号 永野正臣 (広報担当理事) ☎090-2761-6215

御理解・御支援・御協力をいただき誠に有難うございます!

平成27年度年会費を納入された皆様です。

高女/3名	江崎 康彦	唐津 孝	関口世紀子	石井 裕二	小野寺正和	竹林 和義	関根喜代美	高22/10名	鶴田 健治
下門 玲子	川口 保男	高木 繁	清原 桂典	宮崎 英一	稲葉由起子	松本 貢二	原田 淨	矢澤壽恵子	荒川さなえ
日高八ル子	玉田 元康	小町 知子	橋本 光春	子原 敬子	松尾 和幸	齋藤佐智子	安斉きみ子	田河 賢一	金子 尚弘
竹中 典子	倉田 剛	小田 隆文	長濱 敏明	山本 和子	倉田 蕃造	津田 祐一	大塚 賢次	鶴長 秀一	吉村いつみ
定時/2名	酒井 孝幸	中嶋 正毅	田中 一年	坂下キヨ子	伊東 伸子	明瀬 建	赤石 修一	高見 洋介	帯部 力男
濱田 正人	宮崎 大和	神田夫佐枝	山下 交	近藤耕三郎	田中 春代	大塚 康史	橋川 順一	中島 律子	野口 明
大塚 博幸	原田忠四朗	藤枝 純子	森下 秀子	土黒 實	園田 達彦	角岡セツ子	山口 涼子	須崎 律代	高26/1名
天中/10名	高6/9名	渡辺 和則	寺田 紀子	高14/15名	藤崎 明子	高18/12名	有働 東雄	池田 優子	山下 勝範
齋藤 光	岡村 一成	梅本 進	大塚 徳満	松岡 秀枝	平石 水利	八廣久美子	及川 立子	佐久間つぎ子	高28/2名
村上有志知	中村 琢磨	住吉 幹夫	藤田 和雄	橋本 順子	濱名 豊光	佐藤 澄子	上 元範	野口 陽子	江頭眞喜子
相良 諫雄	大和 賢造	中元 令士	加藤いせみ	原田 幸徳	林 朝子	永野 正臣	高21/29名	有馬 衛	福田 常成
原田 芳矢	武田 公夫	吉本 守	永濱 巖	敷 親晴	大塚 延子	金子 洋志	田原 昭	高23/12名	高29/4名
原田 昭好	小畑 幸保	山田 輝夫	松尾 希一	土井 光廣	小林 典子	松本恵美子	平石 水重	田原眞記子	田中 優子
鈴木 義明	村上 賢一	三宅 康定	高12/21名	西上婦美子	須崎 剛	鈴木佐富美	森田 聖憲	桑野 良二	原田 京二
田嶋 國雄	梶田 恵光	大塚 満	市尾 忠教	小崎 誠士	宮本 澄子	紀ノ国谷治子	岩下 好夫	高橋 篤	木谷 祐一
浦田 守武	小島庄太郎	秋田 健二	佐藤 紀子	森田 英徳	金子 和生	松浦真知恵	越智けい子	田中 光一	榎原 保夫
土黒 定信	濱 了二	石井 良空	岩崎 定義	森田 紘司	本多謙二郎	齋藤 都	土井 繁男	若松 敏弘	高31/2名
助村 隆典	高7/9名	松田 修身	玉川 和子	大野 正光	伊藤 常和	星野 悦子	金子 秀明	岡部 養一	岩佐 和子
高1/2名	松下 靖国	松崎 武久	松田 勝機	福島 利男	松岡 敏治	津田志保子	花里 安明	平田 勤	山崎つる子
益田 圭輔	石原 靖曠	高10/17名	野島紘三郎	原田 純吾	蓮尾 光代	赤尾美恵子	巽 正喜	佐藤 正明	高32/1名
園田 司	洲崎 千尋	本多 勝則	常深 襄	野島壮四郎	藤巻 雪子	高19/16名	古山 隆樹	森下 泰光	小森 智美
高2/4名	本多 敏朗	坂本 初義	伊藤美智子	北内 寿夫	永野 和輝	池田 俊朗	沓掛 富美	濱崎 守	高33/3名
中村 東悟	湯本 澄子	久野 栄子	三俣香代子	木原純一郎	高17/24名	坂川 武	馬場 信子	倉田 和利	浅海 雅美
西 功	福井 幸人	鳥羽瀬建男	西田 勝年	高15/15名	山口 泰教	岩崎 一喜	川原 照文	清水真知子	竹村いつ子
糸田 寛人	松尾 尚	中村 信一	山並 義孝	谷山 弘行	駿河 和子	佐藤 純	山下 正路	高24/8名	金子みゆき
寺下 玉夫	森本 雅生	木村 哲典	飽田 賢一	佐藤 圭二	松浦真知恵	佐藤 節代	大島ひろみ	北沢 和子	高34/3名
高3/2名	岩崎 良昭	伊藤 博通	山田 清	近藤 賢一	長濱 栄喜	楳原いそ子	金田 中一	山下 喜丸	甲斐田健吾
酒井ノブ子	高8/10名	小林 惟邦	福山 澄子	相場須美江	田尻 鉄矢	宮崎 秀隆	尾上 充	山下 庄治	玉田 峰樹
花里日出志	水落リヨ子	神田 幸男	濱坂高一郎	小林 忠子	田中 幸夫	大坪 里子	川上 文明	三宅 盛夫	江浦 雅文
高4/8名	田中 匡志	平田 俊清	前田 栄一	田中 賢明	中河原昭夫	洲崎きみ子	佐々木裕子	坂本 忠弘	高42/2名
和田 重司	江浦 末徳	角田 啓爾	大塚 優	吉永 靖子	宮本 忠彦	山田 貞子	吉武 和子	須賀原真弘	子林 子史
川野辺サツキ	三澤 哲也	佐藤 幸代	小林 唯助	下川 洋子	吉永 政昭	山田 敏房	門築 直	木村さよ子	鳥羽瀬宗一郎
小森 友恵	富田 俊男	猪股 眞理	福島 春男	山本 忠義	林田 秋通	小橋 圓子	山中 麗子	浦本 勲	高46/1名
五島 一吉	新 征男	和田東洋司	金子なほみ	井上 義通	宮崎 弘通	田中 慶子	稲葉 卓士	高25/12名	山田 知子
宮崎 英典	松浦 福雄	高木 明子	佐藤 文憲	土佐 幸子	金子 敬美	荒木 統司	奥山 正行	古閑 学	高58/1名
小溝 尚敏	竹馬 久雄	山口 桂子	高13/11名	松尾 弘美	口元 博	山下 純二	長谷場 健	今村 恵子	渡邊 健
古山 正幸	角田 龍爾	薄山 義行	板垣 壽朗	澤田健次郎	山腰 光樹	那須野順子	時本 愛人	藤川 富次	高63/1名
浦本 武	大中 義廣	高11/15名	高木 勲	前田非登美	緒方 茂夫	高20/12名	佐藤 義博	松下美喜子	渡邊 隼
高5/8名	高9/20名	鶴田 和子	武田 縣	山本 洋子	松野 信之	福田いく子	安藤 博子	古閑 博	
岩崎 八男	岡田 松市	長谷場亮祐	吉成カヲル	高16/22名	松下 庄治	宮本東志美	歳田 博文	竹尾 孝幸	

平成27年度年会費に加えて御寄附を頂きました皆様です。

定時/1名	高3/1名	高6/2名	高10/1名	高13/1名	高17/7名	高19/4名	上 元範	高23/5名	高25/3名
濱田 正人	吉田 陽一	梶田 恵光	鳥羽瀬建男	石井 裕二	田尻 鉄矢	岩崎 一喜	高21/1名	桑野 良二	古閑 博
天中/4名	高4/1名	小島庄太郎	高12/4名	高14/1名	中河原昭夫	宮崎 秀隆	時本 愛人	森下 泰光	荒川さなえ
齋藤 光	古山 正幸	高7/2名	玉川 和子	森田 紘司	宮崎 弘通	大坪 里子	高22/3名	濱崎 守	帯部 力男
村上有志知	高5/2名	石原 靖曠	野島紘三郎	高16/1名	松野 信之	山田 敏房	鶴長 秀一	倉田 和利	高29/3名
原田 芳矢	岩崎 八男	洲崎 千尋	三俣香代子	稲葉由起子	松本 貢二	高20/3名	佐久間つぎ子	清水真知子	田中 優子
浦田 守武	倉田 剛	高10/1名	西田 勝年		明瀬 建	安斉きみ子	野口 陽子		原田 京二
		水落リヨ子			角岡セツ子	及川 立子			榎原 保夫

平成27年度に平成26年度年会費を納入された皆様です。

高10/2名	高14/1名	高21/1名	高22/1名						
中村 信一	土井 光廣	大島ひろみ	高見 洋介						
鳥羽瀬建男									

平成27年度会計決算報告 (2015.1.1~2015.12.31)			
収 入		支 出	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
前期繰越金	1,358,847	懇親会費	594,946
		通信費	430,545
26年度年会費	10,000	印刷費	341,273
27年度年会費	712,000	交通費	80,820
懇親会費	521,000	交際費(慶弔費含む)	80,821
広告料	350,000	手数料	36,862
寄附金	159,000	輸送費	10,284
祝金(御樽料)	75,000	事務用品費	43,170
雑収入	17,786	消耗備品費	32,780
		会議費	40,974
小 計	1,844,786	小 計	1,692,475
		次期繰越金	1,511,158
合 計	3,203,633	合 計	3,203,633

平成28年度会計予算 (2016.1.1~2016.12.31)			
収 入		支 出	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
前期繰越金	1,511,158	懇親会費	600,000
		通信費	450,000
年度年会費	700,000	印刷費	350,000
懇親会費	530,000	交通費	85,000
広告料	300,000	交際費(慶弔費含む)	80,000
寄付金	150,000	手数料	37,000
祝金(御樽料)	70,000	輸送費	15,000
雑収入	10,000	事務用品費	45,000
		消耗備品費	0
小 計	1,760,000	会議費	50,000
		小 計	1,712,000
		次期繰越金	1,559,158
合 計	3,271,158	合 計	3,271,158

第30回総会・友好の集いを終えて

星野(旧姓荒木)悦子 (高18回生)



平成27年10月25日、好天に恵まれた日曜日、関東あまたか会の総会が四ツ谷駅前「スクワール麹町」で開催され、98名の老若男女が集った。

スタッフは10時から準備。中でも恒例の天草物産販売は、開始前が売り時。昨年までの「あまくさ宝島市場」が閉店し、考えあぐねていた所に「あまくさ宝箱」の情報を入れ、店主の濱田(旧姓立石)さんは天高の同窓生と判明し、出店を依頼した。あまたか会も例年通り、アジやイワシのみりん干しや塩餡餅、だご、わかめ等を天草から取り寄せ、ふるさとの味をお届けする事が出来た。



12時、山中麗子事務局長(高21)の司会で、物故者への黙とうを捧げた後、原田幸徳幹事長(高14)の開会の言葉、松尾和幸会長(高16)が就任4年目で再任を議

決され、「会員の親睦を深めるためには、情報の共有とお互いを知ることが大事」と挨拶した。

続いて、主賓の天草高校の三津家民也副校長から祝辞を賜り、海江田雅靖同窓会会長、原田登中京



▲来賓祝辞 ▲来賓挨拶

支部会長、相川博道関西支部事務局長及び廣田忠廣関東巴水会(旧水産高校同窓会)副会長からご挨拶を頂戴し、会務・会計報告。最後に揃いのハッピを着た「おもてなし部隊」の役員紹介で総会は滞りなく終了した。

休む間もなく、記念撮影。皆さま



▲役員紹介 ▲記念写真

んの顔は心なしか誇らしげ。午後一時、友好の集いの開始。歴代会長の西功(高2)、山田清(高12)、平田俊清(高10)各氏から挨拶後、平田前会長の乾杯で祝杯を挙げ、祝宴開始。



▲フルート演奏

ステージでは、今年も江頭(旧姓柿久)真喜子(高28)さんのフルート演奏をイーディングタイムで、心暖かく聞き、癒された。さて、お待ちせいたしました。

「あなたが主役の自己紹介！」の時間です。司会は、前半は私が、後半を学年幹事の吉村(旧姓木密)いつみ(高25)さんと担う。卒回毎に壇上に並び、一人ずつ話してもらおう。ばってん、話そうごたることは山んごとある様子。途中で話ば切れることは術なかけん、言いきらんじやった。

予定時間ばオーバーして、天領音頭の総踊りはでさんじやった。ばってん、嬉しかこともあった。18回卒の自己紹介時、17回卒の大



▲天中卒 ▲58・63・67回卒

塚康史さんが同期生に支えられて壇上上がり、「23年前、50歳にもならない時、くも膜下出血で闘病を重ね、更に4年前には脳出血と幾多の病と立ち向かいながら、同級生に会いたかったから来た」と。実は、奥様が会場まで付き添って来られていた。大塚さん来てくれて本当にありがとう。



▲17回卒大塚さん



▲17・18・19・20回卒

もう一つは、天草在住の上中満五郎こと上中満(高8)様より、「ふるさと言葉で綴る続天草歴史こぼれ断」という本のプレゼント！皆さんにご紹介させていただきます。ありがとうございました。



最後に全員で「ふるさと」を歌い、校歌を声高らかに斉唱し、谷山弘行副会長(高15)の三本締めで盛会の内に総会・友好の集いの全てを終了した。



▲三本締め!!

今年も10月23日(日)この場所でお会いしましょう。「あなたが来るとは待つとるけんね!!」

編集後記

総会後、嬉しい一枚の絵はがきが届きました。17回生の中河原さんです。「総会ではお世話になりました。そして皆さんの写真をありがたうございました。百名を超える参加者一人一人に写真を送ってくださるなんて、皆様のご苦労に敬意を表します。」という大変嬉しいものでした。この他にも、お礼のメールや電話などもあり、関東あまたか会では、本当に「一人ひとりを大切にしている。」ということが解ってもらえたと実感しました。

この人間的な繋がりの希薄な社会で、それぞれの顔の見える天草独特の暖かさが心に沁みて嬉しい年になりました。今年もその暖かい絆を深めていきたいと思えます。山中麗子(高21回生)